

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
コールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。	「電話機の概要」(P.9)
オンフックでダイヤルする (ダイヤルトーンあり)	[発信 (New Call)] を押して、電話番号をダイヤルします。	—
番号をリダイヤルする	[リダイヤル (Redial)] を押します。	—
別のコールがアクティブなときにコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押します。 2. [発信 (New Call)] を押します。 3. 番号を入力します。 	「コールの保留と復帰」(P.20)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] > [不在履歴 (Missed Calls)]、[着信履歴 (Received Calls)]、または [発信履歴 (Placed Calls)] を選択します。 2. 番号までスクロールし、[ダイヤル (Dial)] を押します。 	「履歴の使用法」(P.57)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ダイヤル (Dial)] を押します。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、[ダイヤル (Dial)] を押してオフフックにします。
- 間違っでダイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。

- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	「Cisco WebDialer の使用方法」(P.82)
話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに、折返しを使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し (CallBack)] を押します。 2. 切断します。回線が利用できるようになると、電話機から通知を受けます。 3. 再びコールを発信します。 <p>(注) Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、折返し機能が無効になります。</p>	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールを発信する (SCCP 電話機のみ)	Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.41)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ (Directories)] > [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択し、ログインします。 2. [個人アドレス帳 (Personal Address Book)] を選択し、リストを検索します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページの使用 方法」(P.69) • 「電話機でのパーソナルディレクトリ の使用方法」(P.63)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機で Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」(P.43)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. モバイルボイスアクセス番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。 2. 割り当てられたモバイルボイスアクセス番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号(要求された場合)と PIN を入力します。 4. 1 を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。 5. デスクトップの電話番号にダイヤルします(自分のデスクトップの番号以外)。 	「1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.45)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ファストダイヤルを使用してコールを発信する	<p>(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ファストダイヤル (Fast Dial)] 回線ボタンを押します。 2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探し、選択します。 指定した番号がダイヤルされます。 	「Web でのファストダイヤルの設定」(P.72)、 「Web での個人アドレス帳の使用法」(P.71)
PAB を使用してコールを発信する	<p>(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [PAB] 回線ボタンを押します。 2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。 指定した番号がダイヤルされます。 	「Web でのファストダイヤルの設定」(P.72)、 「Web での個人アドレス帳の使用法」(P.71)

コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけでコールに応答できます。また、電話機で使用可能な場合は、他のオプションを使用することもできます。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答 (Answer)] を押します。	「コールの保留と復帰」(P.20)
コール待機を使用して応答する	[応答 (Answer)] を押します。	「コールの保留と復帰」(P.20)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送 (iDivert)] を押します。	「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」(P.23)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
着信コールを自動的に接続する	自動応答を使用します。	「自動応答の使用」(P.51)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	「パークされているコールの保存と取得」(P.34)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	「自分の電話機で他の電話機の着信に応答」(P.33)
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答 (Answer)] を押します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.41)
携帯電話または他のリモート接続先でコールに応答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 • デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 • 1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 	「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.45)

ヒント

- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コール センターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェント グリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- Call Chaperone ユーザは、コールが監視されているときは着信コールに応答できません。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了 (EndCall)] を押します。
(スピーカを使用して) コールをモニタしているときに切断する	[終了 (EndCall)] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了 (EndCall)] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰できます。コールを保留にすると、保留アイコン  がコールタイマーの横および回線領域内に表示されます。共有回線を使用中で、もう 1 人の電話ユーザがコールを保留にすると、リモート保留アイコン  がコールタイマーの横および回線領域内に表示されます。いずれの場合でも、保留の LED が赤色  に点灯します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する

目的	必要な操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 を押します。
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none">該当するコールが強調表示されていることを確認します。 を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールが強調表示されている場合、保留ボタン  が赤く点灯します。保留にしているコールが強調表示されており、回線上に保留状態の別のコールがある場合は、保留ボタンが点滅状態（赤）に変わります。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、保留機能が無効になります。

コールのミュートとミュート解除

[ミュート (Mute)] ソフトキーを押すと、アクティブなコールをミュートできます。ソフトキーの表示は [ミュート解除 (Unmute)] に変わります。その後は、[ミュート解除 (Unmute)] ソフトキーを押してコールをミュート解除できます。

目的	必要な操作
IP 電話のコールをミュートする	[ミュート (Mute)] ソフトキーを押します。
IP 電話のコールをミュート解除する	[ミュート解除 (Unmute)] ソフトキーを押します。

複数のコールの切り替え

電話機で複数のコールを切り替えることができます。

目的	必要な操作
接続コールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。 2.  を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答 (Answer)] を押します。アクティブなコールが保留状態になります。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. [モビリティ (Mobility)] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信 (Send call to mobile)] を選択します。2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に [応答 (Answer)] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。
進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替える (セッションハンドオフ)	<ol style="list-style-type: none">1. 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード (*74 など) を押します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。2. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。3. デスクトップの電話機で 10 秒以内に [応答 (Answer)] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。デスクの電話機でコールに応答するまでの秒数は、システム管理者によって設定されます。 <p>同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。</p>

複数のコールの表示

電話機で複数のコールが表示されるしくみを理解することは、コールの処理方法を確認するために役立ちます。

電話機では、強調表示されている回線についてコールが次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送 (Transfer)] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. [転送 (Transfer)] をもう一度押して転送を完了するか、[終了 (EndCall)] を押してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送 (Transfer)] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送 (Transfer)] をもう一度押して転送を完了するか、[終了 (EndCall)] を押してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送 (iDivert)] を押します。詳細は、「 ボイス メッセージ システムへのコールの送信 」(P.23) を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または [転送 (Transfer)] を押してから切断できます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[転送 (Transfer)] を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送 (Transfer)] を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。●をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、転送機能が無効になります。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送 (iDivert)] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送 (iDivert)] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送 (iDivert)] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された (転送されたのではない) 場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送 (iDivert)] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送 (iDivert)] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送 (iDivert)] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッションハンドオフ)、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の 2 種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送 (すべてのコールの転送) : 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送 (無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送) : 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
回線の不在転送を設定する	[不在 (CFwdALL)] を押して、転送先の電話番号を入力します。
回線の不在転送をキャンセルする	[不在 (CFwdALL)] を押します。
回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	<p>次を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交互に点滅するコール転送のアイコン  が電話番号の横に表示される。 ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
コール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします (「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 (P.69) を参照)。 コール転送の設定にアクセスします (「Web でのユーザ設定の制御」 (P.76) を参照)。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッションハンドオフ)、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。

サイレントの使用法

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント (DND)] と [コール転送 (Call Forward)] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると (セッション ハンドオフ)、Cisco Unified デバイスでサイレント機能が無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

目的	必要な操作
サイレントをオンにする	[サイレント (DND)] を押します。 ステータス行に「サイレント (Do Not Disturb)」と表示され、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント (DND)] ソフトキーを押します。または、次の操作を行います。 1.  > [デバイス設定 (Device Configuration)] > [コールの設定 (Call Preferences)] > [サイレント (Do Not Disturb)] を押します。 2. [No] を選択してから、[保存 (Save)] を押します。

目的	必要な操作
サイレントの設定値をカスタマイズする	<p>サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.69) を参照してください。 2. ドロップダウンメニューから、[ユーザ オプション (User Options)] > [デバイス (Device)] を選択します。 3. 次のオプションを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - [サイレント (Do Not Disturb)] : サイレントを有効または無効に設定します。 - [DND オプション (DND Option)] : [コール拒否 (Call Reject)] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ (Ringer Off)] (呼出音だけをオフにする) を選択します。 - [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし (None)] を選択します (システム管理者が設定した「アラート (Alert)」設定が使用されます)。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用方法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[会議 (Confn)] ソフトキーを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[参加 (Join)] ソフトキーを使用します。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[C 割込 (cBarge)] ソフトキーを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー (MeetMe)] ソフトキーを使用します。

会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作
参加者にコールを発信して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. 接続コールで、[会議 (Confm)] を押します。2. 参加者の電話番号を入力します。3. コールの接続を待ちます。4. もう一度 [会議 (Confm)] を押して、参加者をコールに追加します。5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「 会議参加者の表示または削除 」(P.30) を参照してください。

参加機能の使用法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作
複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで会議に含める別のコールを強調表示し、[選択 (Select)] を押します。 選択したコールにアイコン  が表示されます。2. 追加するコールごとにこの手順を繰り返します。3. [参加 (Join)] を押します (必要に応じて [次へ (more)] ソフトキーを押して、[参加 (Join)] を表示します)。
2 つの既存の会議を結合する	[参加 (Join)] ソフトキーまたは [D 転送 (DirTrfr)] ソフトキーを使用します。 この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「 会議参加者の表示または削除 」(P.30) を参照してください。

C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できません。

目的	必要な操作
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	コールを強調表示し、[C 割込 (cBarge)] を押して操作を完了します。 詳細については、「共有回線の使用」(P.36) を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	「会議参加者の表示または削除」(P.30) を参照してください。

ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 参加者に番号を配布します。 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを受信し、[ミーティング (MeetMe)] を押します。 ミーティング会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加できます。 <p>(注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<p>ミーティング会議番号をダイヤルします (この番号は会議の開催者から提供されます)。</p> <p>(注) 会議の開催者の参加よりも前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全なミーティング会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス (Device Not Authorized)」というメッセージが表示されます。詳細については、「安全なコールの送受信」(P.39) を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	<ul style="list-style-type: none">• [参加者 (ConfList)] または [会議リスト (Conference List)] を押します。• 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。 <p>(注) 会議の参加者リスト ([参加者 (ConfList)]) には、最大 16 人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者 (ConfList)] には 16 人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者 (ConfList)] には最新の 16 人の参加者のみ表示されます。</p>
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新 (Update)] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク (*) の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除 (Remove)] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ (RMLstC)] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議 (Conference)」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	「 会議機能の使用方法 」(P.28) を参照してください。